

2025年度 募集要項 〈アドバンストコース〉

募集定員	20名（オンライン受講生 若干名含む）
出願資格	① 大学または短期大学を卒業した者 ② その他本学において、①と同等以上の学力があると認められた者
出願手続	募集要項等の請求 募集要項ならびに受講申込書の様式は、全て本プログラムの Web サイト（http://www.kansai-u.ac.jp/relearn/schedule.php）からダウンロードしてください。 オンライン受講に係る事前相談 オンライン受講をご希望の方は、出願に先立ち、必ずオンラインによる事前相談を行ってください。
出願書類	① 受講申込書 様式の所定欄に最近3ヶ月以内に撮影された写真を1枚貼付 ② 出身大学等の卒業（見込）証明書（本書）※1 1通 ③ 推薦状（様式自由）※2、3 所属団体企業等からの推薦状 ※1：証明書記載の氏名と出願時の氏名が異なる場合は、戸籍謄本を別途提出してください。 ※2：出願資格②において出願の場合は、推薦状を必ず提出してください。 ※3：個人受講の方は、推薦状を提出する必要はありません。 詳しくはこちら
出願書類等の提出先	〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 関西大学 社会人学び直し大学院プログラムオフィス
出願期間	2025 年 4月1日（火）～ 4月30日（水） ※1：ただし、専門実践教育訓練給付金を申請の方は、5月15日（木）までに、出願してください。 ※2：出願期間中であっても募集定員に達した時点で、募集を終了することがあります。 出願者は、出願書類等を一括し、上記の出願期間に「書留郵便」等、追跡可能な方法で郵送してください（消印有効）。
選考方法	書類審査にて行います。
受講手続き	① 受講許可者へは、許可通知、手続書類を5月14日（水）に受講申込書に記載のe-mail宛に送付します。 ② 受講料 400,000円（Ⅰ期（春期）：20万円 Ⅱ期（秋期）20万円） ③ 受講料については、5月23日（金）までに納付してください。
受講期間	2025 年 5月31日（土）～ 2026 年 3月13日（金） 原則として、授業は、土曜日（9時00分-17時00分）と水曜日の夜間（18時30分-20時30分）に実施します。
会 場	関西大学梅田キャンパス 6階 601教室 または 604 教室
その他	2025 年 7月12日（土）～ 13日（日）は、関西大学六甲山荘にて集中合宿授業を行います。 宿泊費等（約8,000円）については、別途徴収します。
プログラムについて	履修証明制度 「履修証明制度」は、学校教育法に規定された制度で、一定の条件を満たした者に「履修証明書」を交付できる制度です。本プログラムはこの「履修証明制度」に従って社会人等を対象として120時間以上の科目に体系性を持たせた教育プログラムです。そこで、短期間に一定の体系ある学習が可能となるだけでなく、「履修証明書」取得後はその事実を履歴書やジョブカードに書くことができます。
	修了要件 以下の要件を満たすと、学校教育法第105条及び第164条に基づき本学から履修証明書を交付する。 【厚生労働省教育訓練給付金または人材開発支援助成金を申請する者】 ①すべての必修科目に合格し、合格した科目の時間数が120時間以上であること。 ②原則として 授業を受講し 60点以上（100点満点）の成績を修めた者を合格とする 【上記以外の者】 ①開講予定科目は全て自由選択とし、合格した科目の時間数が120時間以上であること。 ②原則として、授業を受講し、60点以上（100点満点）の成績を修めた者を合格とする。 関西大学大学院経済学研究科では、本履修証明書による入学時の所定の手続きを経て単位の認定をされることがあります。
	注意事項 受講に際しては、自宅等で安定してインターネットを使える環境があることが必要となります。事前学習については、e-learning システム（関大LMS）を使って行います。履修に関する連絡は、e-mail もしくは関大LMSにて行います。また、必要な書籍については、各自で購入してください。本プログラムは、大学院の正課科目としての単位認定は行いません。

※本プログラムは、個人に受講料の最大7割が給付される「専門実践教育訓練」認定講座です。また、事業主に受講料の一部が助成される人材開発支援助成金の対象です。対象要件や手続きの詳細は、厚生労働省やハローワークのウェブサイトをご確認願います。また、事前申請等に係る個別の照会については、最寄りのハローワークまでお問い合わせください。

受講会場（関西大学 梅田キャンパス）

〈アクセス〉

〒530-0014
大阪府大阪市北区鶴野町1-5

- 阪急「梅田駅」茶屋町口から徒歩約5分
- JR「大阪駅」から徒歩10分
- 地下鉄谷町線「中崎町駅」から徒歩5分

〈問い合わせ先〉

関西大学社会人学び直し大学院プログラムオフィス

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

TEL 06-6368-3016（10時～17時 土・日曜・祝日を除く）

URL <http://www.kansai-u.ac.jp/relearn/>

e-mail manabi-contact@ml.kandai.jp

詳しくは**WEB**で。→ **関大 リカレント** **検索**



社会人学び直し・リカレント教育

グローバル人材を育成する

海外ビジネスマネジメント講座

海外子会社の経営を担う人材を養成する大学院教育プログラム〈アドバンストコース〉



学びを継続するための ハイブリッド型授業



文部科学省
職業実践力養成プログラム（BP）
履修証明プログラム



Brush up Program
for professional

厚生労働省
「専門実践教育訓練」認定講座

個人の方
教育訓練給付制度

事業主（企業等）の方
人材開発支援助成金

梅田
キャンパス
にて
授業開講！



関西大学

世界で通用する課題設定力と思考力を養う

海外展開を行う企業には、語学力に加えて、深い異文化理解に根ざした経営戦略を立案できる人材が求められます。具体的には、異文化環境に臆せず飛び込むバイタリティをもち、自律的に課題設定から解決までを行い、現地の人々と対等な関係を築き、企業価値を高めることのできる人材です。本プログラムでは、大学教員が行う専門・教養教育による「理論知」に加えて、企業出身教員による実践的な教育によって「実践知」を学ぶことができます。

これら二つの知を両輪として多様な宗教・価値観が共存する海外での展開を想定した戦略事例を学ぶことで、国・地域に限定されない汎用性をもった真の思考力を養成します。体系化された教育プログラムと徹底したサポート体制で、海外での活躍をめざす社会人のキャリアアップを応援します。



社会人学び直し大学院プロジェクト
プロジェクトリーダー/経済学部 教授

林 宏昭

本プログラムの
特長

- 経営戦略、トップマネジメント、ASEANの宗教、地理・歴史、経済など体系化されたカリキュラム
- ケーススタディでのディスカッションや、グループワークを通じての問題解決力、経営交渉力の向上
- 企業出身の実務家教員による実践的な講義
- 授業を欠席した場合でも、ビデオ講義にて視聴可能
- 修了生には、学校教育法に基づき「履修証明書」を交付

こんな方におすすめです！

受講生像

- マネジメント研修や人材育成のメニューをお探しの方
- 中小企業の海外展開支援を行う金融機関の方
- これまでの経験知を実践知にUPDATEしたい方
- 海外展開企業へキャリアチェンジをお考えの方
- 海外赴任者および外国人社員の方の研修をお探しの方

本プログラムのゴール

ASEANに関する幅広い知識と教養を有し、現地の人々と対等でWin-Winな関係を築き、問題点をいち早く認知するとともに、その問題点に対し、自らの頭で自主的によく考えて判断し、自らの責任で自律的かつ積極的に行動し、解決していくことで、会社を発展させていく能力を養成します。

教育プログラムの概要

本プログラムは、3段階の体系性を有しています。具体的には、「実践基礎教育プログラム」は、実務家教員等による演習・講義であり、海外におけるマネジメントの基礎を学習します。「専門教育プログラム」は、大学教員による専門的な講義であり、グループワークやディスカッションを用いた教育効果の高い授業により、理論知を身につけます。「実践応用教育プログラム」は、実務家教員等による演習であり、経営者の視点・考え方を学びます。

START	→ 約9ヶ月 →	GOAL
履修証明プログラム※〈アドバンスト〉		
必修科目 <22科目 119時間>		
● 異文化コミュニケーション ● 海外事業体(子会社)における管理者の責任と役割Ⅰ、Ⅱ ● 経営戦略 ● 日本的経営思想 ● 中国経済の現状と課題 ● ASEAN経済 ● 国際マーケティング ● 海外経営のための会計情報の利用 ● グローバル企業の人材育成 ● 経営者の戦略的役割 …他11科目		
選択科目 <13科目 45時間>		
● 海外展開のためのM&A ● ASEAN法律制度 …他11科目		

※「履修証明プログラム」とは、社会人等の学生以外の者を対象とした特別の課程で、体系的な知識・技術等の習得を目指した教育プログラムで、目的・内容に応じ総時間数60時間以上で設定されています。本プログラムは、合計120時間に合格し、プログラムの修了者には、学校教育法に基づく履修証明書を交付します。

※開講科目・時間数は、若干増減・変更する可能性があります。

※厚生労働省所管の教育訓練給付金または人材開発支援助成金申請者のみ必須科目の設定があり、申請されない方は、全科目自由選択となります。

学び直しのサポート体制	
社会人が受講しやすい環境・工夫	
都心型キャンパス (時間的制約の解消)	関西大学梅田キャンパスは、阪急梅田駅(徒歩5分)の大阪市北区鶴野町に開校。
e-learningによる学習 (教育の実質化)	ビデオ視聴による事前授業にて30分程度の予習を行い、必要な知識を習得。
講義・収録配信システム (欠席に関わる配慮)	授業を欠席した場合、当日の授業映像をオンデマンドにて視聴可能。
集中合宿授業 (人的交流促進)	集中合宿授業（関西大学六甲山荘）を実施。異なるバックグラウンドを有する受講者が授業時間内外を通じて、お互いに意見を交換することにより、教育効果を高め、人的ネットワークを創出。

講師メッセージ

グローバル化時代の企業高度化戦略を考案

本授業では東南アジアに広がる国際生産・流通ネットワークのダイナミックな展開の実態と、産業高度化の課題と可能性を、近年注目されるようになったグローバル・バリューチェーン（GVC）の分析枠組みを用いて分析する能力を養います。さらに、日系企業の視点に立ち、その国際化戦略の策定に必要な素養を培い、実践に生かせる力をつけることを最終目的とします。

本授業では、①ASEANを含むアジア経済の地域統合の実態をレビューし、②GVC分析枠組みを習得し、③それを用いて各自の企業の高度化戦略を考察することで、問題認知力と解決力を高めます。



関西大学 経済学部／教授

後藤 健太

授業科目 ASEAN経済

海外事業体のトップ・幹部になる方々へ

日系企業では日本の部長クラスの人材が海外事業体の社長、工場長に任命される事が多くあります。しかし、経営経験がないまま現地に赴任するため大変ご苦労されているケースが散見されます。本授業では海外で活躍できる人材の要件、経営者・管理者の心得・責任と役割、行動指針を学び、各自の行動・改善計画を立案し実践していただきます。また、コンプライアンス違反防止に向けた体制整備と行動指針を考え実践していただく事を目標としています。受講された皆さんが、夢と期待と自信を持って海外に赴任される事を願っています。



元ダイハツ工業株式会社エグゼクティブ・アドバイザー

野本 隆

授業科目 海外事業体(子会社)における
管理者の役割・コンプライアンス体制

派遣企業の声



モニターとして若手社員を送り出してから10年、本講座も11期目となり参加経験者も22名で大半が海外部門で活躍中です。内容も実践的で今後も海外駐在員の育成に大いに活用させていただきます。

西村 元秀さん

泉州電業株式会社
代表取締役社長



私自身がまず受講してみても、異業種の人たちと海外ビジネスを学ぶことで、新たな事業のイメージが湧きました。今は、社員にも受講を勧め当社の営業員育成研修として非常に役立っています。

檀上 利洋さん

株式会社善光商事
代表取締役

受講生の声

多くの方に学んでほしいプログラムです

沢山の事例を自社に置き換えて考えることで今後の目指す方向性や注意しておかなければならないことなど、実務に適した内容でした。グループディスカッションでは、異業種の方と意見を交換することで、新しい発見や共通する取組みなど、いろいろな意見を聞くことができたことは有意義でした。また学習環境も良く事務局の方にも大変お世話になりました。今後も、数多くの方に学ぶチャンスが与えられることを願います。



岩永 清人さん

泉州電業株式会社
内部監査室



福岡 和也さん

株式会社大洋工作所
経理部 課長

経営人材を目指す方にお勧めします

「海外」が講座名に付いていますが、経営的な視点を身に付けられるよう配慮されていますので、経営人材を目指す方全般にお薦めできる講座です。勿論、海外でのマネジメントを考慮した、異文化や歴史に対する基礎知識から、具体的なケーススタディまで、体系的に学ぶことが出来ます。意欲のある方なら、9か月の受講期間が短く感じられるでしょう。それ程、充実したカリキュラムとなっています。



小山 俊治さん

ダイハツ工業株式会社
調達部

仕事と両立しながら無理なく続けられる

約9ヶ月間というスケジュールも、仕事と両立しながら無理なく続けられる期間で、受講を決めた大きな理由です。集中合宿があり、そこで一緒に勉強する仲間たちと一気に打ち解けられネットワークが深まります。異なる背景を持った社会人が集まるのは授業はすごく刺激的でした。また、ケーススタディの授業では、現地で実際に直面する可能性がある事例について、ディスカッションを通じてシミュレーションできるので実践的な問題解決能力が身につきました。



宇佐美 健一さん

株式会社光アルファクス
営業支援推進部

学んだ内容が繋がっていく

各科目それぞれで学んだ内容が繋がっていくのが面白いです。例えば、「ASEAN経済」と「ASEAN発展論」では、キーワードは同じだったのですが、違う視点からの説明で面白かったです。また、反転授業（30分程度の予習ビデオコンテンツ）を視聴してから、授業を受ける形式も面白いなと思いました。まったく知らない分野の科目でも事前にどういう話が出るのかということを知ってから授業を受講できるのは効果的だったように感じます。



樋口 知代さん

株式会社テイク・システム
企画部

実践レベルの役に立つ授業



油谷 功一さん

株式会社善光商事

海外赴任を経験して経営者視点の大切さを再認識



藤井 梨乃さん

NTW Inc.株式会社

2023年度受講生の声ムービー
このお二人の『受講生の声』は
こちらのQRコードから。



2025年度プログラム実施科目スケジュール

■開講式（オリエンテーション）

日 時:5月31日(土) 14時00分～16時00分 ・会 場:関西大学梅田キャンパス 6階 601教室

月	日	曜日	科目名(講師名)									
			9時～10時	10時～11時	11時～12時	12時～13時	13時～14時	14時～15時	15時～16時	16時～17時	18時30分～19時30分	19時30分～20時30分
5月	31日	土	開講式(オリエンテーション)									
6月	11日	水	◎ASEANの地理・歴史 ～経済的影響と戦略①(野間 晴雄先生)									
	14日	土	伝わる文章作成技法 (毛利 美穂先生)									
	21日	土	テーマスタディ・パラダイム転換の中の世界 (大武 健一郎先生)【604教室】									
	25日	水	◎ASEANの宗教・文化② (酒井 真道先生)									
	28日	土	◎異文化コミュニケーション① (守崎 誠一先生)									
7月	2日	水	◎人を動かす論証型プレゼンテーション① (岩崎 千晶先生)									
	9日	水	◎ASEAN経済① (後藤 健太先生)									
	12日	土	◎ASEAN経済② (後藤 健太先生)									
	13日	日	◎グローバル企業の人材育成① (牧野 信夫先生)									
	17日	木	◎人を動かす論証型プレゼンテーション②(岩崎 千晶先生) 14:30～17:30									
	23日	水	◎グローバル企業の人材育成③ (牧野 信夫先生)									
	26日	土	補講日									
	30日	水	補講日									
8月	2日	土	◎海外事業体(子会社)における管理者の責任と役割Ⅰ① (野本 隆先生)									
	23日	土	海外派遣者のためのストレスマネジメント① (川端 康雄先生)									
	27日	水	交渉学② (唐澤 理恵先生)									
	30日	土	◎経営戦略① (吉田 史朗先生)									
9月	3日	水	◎ASEAN発展論① (北波 道子先生)									
	6日	土	◎ASEAN発展論② (北波 道子先生)									
	10日	水	補講日									
	20日	土	◎子会社経営で直面する課題(ケーススタディ)①(根田 忠先生) 【604教室】									
	27日	土	◎グローバル経済①(高屋 定美先生) 【604教室】									

- ※1. 講義は、梅田キャンパスの601教室にて行います。講義30分前に解錠します。601教室以外で実施の場合は、スケジュール上に記載します。
- ※2. 7月12日～13日は関西大学六甲山荘にて集中合宿授業として実施します。
六甲山荘での合宿が中止の場合は、7月13日の講義は、7月12日午前中に実施予定です。
- ※3. 一部の時間割については、変更の可能性があります、その場合は本プログラムWebサイトに公表します。
- ※4. やむを得ず講義が休講となった場合、補講日に講義が実施される可能性があります。
- ※5 厚生労働省所管の「教育訓練給付金(個人への給付)」または「人材開発支援助成金(企業への助成)」申請者のみ、◎のついている科目を必修とします。

2025年度プログラム実施科目スケジュール

月	日	曜日	科目名(講師名)									
			9時～10時	10時～11時	11時～12時	12時～13時	13時～14時	14時～15時	15時～16時	16時～17時	18時30分～19時30分	19時30分～20時30分
10月	1日	水	◎中国経済の現状と課題① (梶谷 慎先生)									
	4日	土	◎子会社経営で直面する課題(ケーススタディ)②(根田 忠先生) 【604教室】									
	8日	水	◎海外経営のための企業会計入門① (柴 健次先生)									
	15日	水	◎海外経営のための企業会計入門② (柴 健次先生)									
	18日	土	テーマスタディ・海外でのリスクマネジメント (森下 剛志先生)【604教室】									
	22日	水	◎海外経営のための企業会計入門③ (柴 健次先生)									
	25日	土	◎組織・運営戦略②(屋代 徳文先生) 【604教室】									
11月	29日	水	補講日									
	5日	水	◎海外経営のための管理会計① (大西 靖先生)									
	8日	土	◎経営者の戦略的役割②(吉田 史朗先生) 【604教室】									
	12日	水	経営・人事戦略(筒井 真紀先生) 【604教室】									
	15日	土	◎日本の経営思想①(田中 一弘先生) 【604教室】									
	19日	水	◎海外子会社の経営者として必要な能力①(宮本 昭洋先生) 【604教室】									
	26日	水	◎海外経営のための管理会計② (大西 靖先生)									
12月	29日	土	◎国際マーケティング① (馬場 一先生)									
	3日	水	◎国際マーケティング②(馬場 一先生) 【604教室】									
	6日	土	海外展開のためのM&A②(牧野 信夫先生) 【604教室】									
	10日	水	◎海外経営と国際租税法②(中村 繁隆先生) 【604教室】									
1月	13日	土	◎日本の経営思想②(田中 一弘先生) 【604教室】									
	10日	土	テーマスタディ・現代インドの政治と経済 (福味 敦先生)10:30-12:00【604教室】									
	14日	水	ASEAN法律制度①(西澤 希久男先生) 【604教室】									
	17日	土	◎子会社経営で直面する課題-人事労務政策-①(根田 忠先生) 【604教室】									
	21日	水	ASEAN法律制度②(西澤 希久男先生) 【604教室】									
2月	24日	土	◎子会社経営で直面する課題-人事労務政策-② (根田 忠先生)									
	14日	土	補講日									
	21日	土	◎海外子会社の経営者として必要な能力② (宮本 昭洋先生)									
	28日	土	海外事業体(子会社)におけるコンプライアンス体制 (野本 隆先生)									
3月	13日	金	閉講式									

■閉講式

・日 時:3月13日(金)18時30分～19時00分 ・会 場:関西大学梅田キャンパス 6階 601教室

- ※1. 講義は、梅田キャンパスの601教室にて行います。講義30分前に解錠します。601教室以外で実施の場合は、スケジュール上に記載します。
- ※2. 一部の時間割については、変更の可能性があります、その場合は本プログラムWebサイトに公表します。
- ※3. やむを得ず講義が休講となった場合、補講日に講義が実施される可能性があります。
- ※4. 厚生労働省所管の「教育訓練給付金(個人への給付)」または「人材開発支援助成金(企業への助成)」申請者のみ、◎のついている科目を必修とします。

「海外子会社の経営を担う人材を養成する大学院教育プログラム」 〈アドバンストコース〉 2025年度開講予定科目概要（35科目：163.5時間）				ベーシック コース
授業科目	担任者(所属)	授業概要	時間	
実践基礎教育プログラム(9科目：計43時間)				
◎異文化コミュニケーション	守崎 誠一(関西大学外国語学部教授) 榎本 智子(関西大学外国語学部教授)	異文化コミュニケーション分野の理論について言語、非言語コミュニケーション、価値観、宗教観、企業文化、倫理観の視点から学習し、異文化コミュニケーションの現象を多角的に理解・分析する視点を身に付ける。	6	教養(基礎)
◎人を動かす論証型プレゼンテーション	岩崎 千晶(関西大学 教育推進部教授)	経営に関する知識や情報、経験を頭の中で整理し視覚化させるために「シンキングチャート」「プレゼンテーションスキル」を活用して、思考力を高めるための手立てとする。	5	教養(基礎)
交渉学	唐澤 理恵 (office KARARIE)	交渉相手と良好な信頼関係を構築しながら、最大の利益を得るための交渉戦略、手法を、ビジネスの場面であがちなケーススタディ等を通して身に付ける。	5	教養(基礎)
伝わる文章作成技法	毛利 美穂(関西大学プログラム・アドバイザー)	経営に関わる情報や課題の本質を捉え、様々な判断の根拠を示し比較検討をするための「クリティカルシンキング」「ロジカルライティング」の技法を身に付ける。	2	教養(基礎)
◎経営戦略	吉田 史朗 (S & Gビジネスディレクション株式会社代表コンサルタント)	海外進出の目的を、二つの経営戦略、すなわち企業戦略(成長戦略)的視点と競争戦略的視点から、今注目をされている代表的な経営戦略論によるアプローチや、様々な企業事例等を通して明確にする。	6	教養(専門)
◎国際マーケティング	馬場 一(関西大学商学部准教授)	国際マーケティングの戦略(国際マーケティングリサーチ、参入意思決定、STP)及び戦術(マーケティング・ミックス)を体系的に学び、事例を通じてその理解を深める。	4	専門
◎子会社経営で直面する課題(ケーススタディ)	根田 忠 (元JETRO大阪本部 貿易投資アドバイザー)	子会社経営でよく直面する課題(人間関係、リスク管理、人事労務問題、子会社と親会社の関係等)について、ディスカッションを通じ、自分の問題としてその解決策を考える。	6	専門
◎組織・運営戦略	屋代 徳文 (りそな総合研究所コンサルタント、社会保険労務士)	グローバル視点で立案した経営戦略を実行していく上で、どう組織を編成し動かしていくのか。どう人材を配置、育成しパフォーマンスを上げていくのか、そしてどう評価し報酬に結び付けていくのかを考える。	6	-
経営・人事戦略	筒井 真紀 (りそな総合研究所コンサルタント、社会保険労務士)	他社事例を踏まえつつ人的資本経営について理解を深めるとともに、自社におけるパーパスおよび経営戦略を踏まえたうえで、それを実現する人事戦略のあり方について模索する。	3	-
専門教育プログラム(14科目：計71時間)				
◎ASEANの宗教・文化	酒井 真道(関西大学文学部教授) 小杉 麻季亜(関西大学文学部准教授)	ASEANでは、イスラム教、上座部仏教、ヒンズー教等の宗教が生活の隅々まで影響を与えており、現地の人と接するときに必要な知識を学習する。	5	教養(基礎)
◎海外経営のための企業会計入門	柴 健次(関西大学名誉教授)	会計は異文化コミュニケーションの強力なツールであるという視点に立ち、会計の基礎力の養成に力を置く。ファイナンスの思考回路と会計の思考回路の相違を理解する。	6	教養(専門)
◎海外経営のための会計情報の利用		企業での問題がどのように会計情報にされるのかを考察し、逆に会計情報の変化から企業の状況の変化を読み解く。	6	-
◎ASEAN経済	後藤 健太(関西大学経済学部教授)	ASEANで広がる生産・流通ネットワークの実態と、産業高度化の課題と可能性を、グローバル・バリュー・チェーンの分析枠組みを用い、日系企業の視点から明らかにし、その国際化戦略の策定に必要な能力を養う。	5	教養(専門)
グローバル経済	高屋 定美(関西大学商学部教授)	変動の激しい世界経済の動きを客観的に理解し、海外子会社を経営する上で必要な世界経済と進出先の国の経済の動向、そして将来を分析できる能力を、グループワークを通して身に付ける。	4	教養(専門)
◎ASEAN発展論	北波 道子(関西大学経済学部教授)	アジア経済のダイナミクスを理解し、それに伴う製造業の生産拠点移動など、一定の法則性を理解する。	5	専門
◎日本の経営思想	田中 一弘 (一橋大学大学院経営管理研究科教授)	日本企業の経営は、江戸時代以来の日本の経営の思想が連続と引き継がれている。現地の方へ、それを理解してもらえるように、日本の経営思想の歴史と手法を学習する。	6	専門
◎海外経営のための管理会計	大西 靖(関西大学大学院会計研究科、経済学部教授)	企業の経営管理において、必要不可欠な原価計算及び管理会計に関する知識を修得する。	6	専門
◎海外経営と国際租税法	中村 繁隆(関西大学大学院会計研究科教授)	日本の親法人との取引を題材に、現地国の国内租税法と租税条約の関係を学習し、国際租税法の基本思考を習得する。	5	専門
◎中国経済の現状と課題	堀谷 慎 (神戸大学大学院経済学研究科教授)	中国の市場化のプロセスを分解し、中国の国家資本政策と外資政策に関する知識を習得したうえで、いくつかの事例の考察を通じて、さらに実践的に理解する。	4	-
◎ASEANの地理・歴史 —経済的影響と戦略—	野間 晴雄(関西大学名誉教授)	ASEANの国々に現地赴任し、海外子会社を経営したり海外で直面する課題を解決したりする上で必要となる、実践的な生活の知恵と現地の人と接するときに必要な知識を学習する。	5	-
ASEAN法律制度	西澤 希久男(関西大学政策創造学部教授)	ASEANにおいて、海外子会社を経営する際に直面する問題に対応するため、とくに紛争処理及び消費者保護に関する法律に焦点を絞り、各国の法制度の概要、特徴、及び問題点を学ぶ。	6	-
海外展開のためのM&A	牧野 信夫 (株式会社 マッキー コーポレーション 取締役CEO)	ケーススタディを通じて、グローバル企業に特有の問題点、組織論、人材活用、リーダーシップに関するトピックに焦点をあてることにより、発展段階に必要な人材の資質を理解する。	6	-
海外赴任者との接統授業	三島 徹也(関西大学大学院会計研究科教授)	海外赴任中の終了生と接続し、海外の実情や海外赴任の実態をしり、またケーススタディを学ぶことで、赴任時のリスクヘッジを身に付ける。	2	-
実践応用教育プログラム(8科目：計42時間)				
◎海外事業体(子会社)における管理者の責任と役割Ⅰ	野本 隆 (元ダイハツ工業株式会社エグゼクティブ・アドバイザー)	経営者・管理者の心得、責任と役割を明確にし「行動指針」をダイハツの例を参考に学ぶ。また立案した行動・改善計画等の成果を発表する	6	専門
◎海外事業体(子会社)における管理者の責任と役割Ⅱ			3	-
海外事業体(子会社)におけるコンプライアンス体制		コンプライアンスについては、違反防止に向けた体制の整備と行動指針を考え、立案した行動・改善計画等の成果を発表する。	3	-
海外派遣者のためのストレスマネジメント	池見 陽(関西大学名誉教授) 川端 康雄(大阪医科薬科大学 臨床心理士)	海外生活をする上で必要なストレス・コントロール法の獲得する。海外で直面する課題を解決する手法を学ぶ。	6	専門
◎海外子会社の経営者として必要な能力	宮本 昭洋 (元りそなブルダニア銀行代表取締役社長)	事例をもとにしたディスカッションを通して、問題点の把握と本質的理解、解決策の模索を行い、経営者として必要な能力について考え、説明する。	6	専門
◎グローバル企業の人材育成	牧野 信夫 (株式会社 マッキー コーポレーション 取締役CEO)	グローバル人材の定義・要件設定を行い、それに沿った人材育成を行う組織と教育の在り方を理解する。	6	教養(専門)
◎子会社経営で直面する課題 —人事労務政策—	根田 忠 (元JETRO大阪本部 貿易投資アドバイザー)	海外子会社で直面する人事労務政策にかかる課題において、経営者としてどのように考え、行動するべきかを事例・ディスカッションを通して考え、説明する。	6	-
◎経営者の戦略的役割	吉田 史朗 (S & Gビジネスディレクション株式会社代表コンサルタント)	経営者としての戦略的な役割の中で、特に社員を引っ張る「リーダーシップ」を身に付けること、「経営管理力」を発揮すること等に焦点を当てる。	6	-
テーマスタディ(4テーマ：計7.5時間)				
「パラダイム転換の中の世界」 「海外でのリスクマネジメント」 「現代インドの政治と経済」 「海外での知的財産権」	大武 健一郎(元国税庁長官) 森下 剛志(経済産業省近畿経済産業局国際部国際連携推進室長) 福味 敦(関西大学政策創造学部教授) 諏訪野 大(近畿大学法学部教授)	世界情勢や知的財産など、現代的課題にフォーカスする。	7.5	-

※厚生労働省所管の「教育訓練給付金(個人への給付)」または「人材開発支援助成金(企業への助成)」の申請者のみ、◎のついている科目を必修とします。申請されない方は、全科目自由選択となります。

※開講科目・時間数は、若干増減・変更する可能性があります。